



:修正前



:修正後

<別紙5>

基本方向3 にぎわいと活力あふれる創造のまち



(3) 観光・イベントの推進

現状と課題、今後の方向性など

・地域資源（木曽川・笠松みなと公園・笠松競馬場や馬など）を活かし、商工会やかさまつまちづくりイベント実行委員会と連携し、季節のイベントを開催することで、まちの風物詩として町内外から多くの人を集め、にぎわいと交流を創出しています。また、平成28年3月に大型複合遊具「かさまるくん」の整備をはじめリニューアルした笠松町運動公園に加え、平成31年3月のサイクリングロードの完成により、広域的な集客施設が整備され、交流人口の拡大につながっています。

・平成21年策定の「リバーサイドタウンかさまつ計画」に基づき、町の資源を活かした魅力づくりを進めるため、木曽川沿いのサイクリングロード整備やトンボ池の再生など河川敷の憩い空間整備を実施してきましたが、~~今後、令和時代に即したまちづくりを展開し、河川空間や未活用地を活かした観光施設の整備など、~~令和5年度に笠松みなと公園が都市・地域再生等利用区域の指定を受け、~~今後~~も更なる新たな魅力を創造していきます。また、既存イベントのブラッシュアップや民間主導によるイベントを活性化し、誘客につなげるとともに、町内事業者の経常的な収益、ひいては町の産業振興に発展させていくことが求められます。



主な取り組み

①町の資源を活かした魅力づくり

- ・ SNSなどを活用した観光、イベント情報の発信
- ・ 町の特産品の発掘と「ふるさとかさまつ宅配便」による魅力発信
- ・ 住民との協働によるネットワークの拡充
- ・ 広域連携による観光資源のネットワークの強化

②観光・交流イベントの活性化

- ・ 民間との協働による町の魅力発信と観光プロモーションの推進
- ・ 地域特性を活かした新たなイベントの開催
- ・ 民間主導によるイベント開催の推進

③リバーサイドタウンかさまつ計画の推進

- ・ 河川空間を活用したまちづくりの推進
- ・ 地域資源を活かした特色ある事業の創出
- ・ 都市・地域再生等利用区域（笠松みなと公園）による地域活性化の推進

まちづくり指標 (重要業績評価指標 KPI)	現状値 (令和元年度)	中間値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 12 年度)
観光・イベント情報ホームページ閲覧者数	14,085 人	17,000 人	20,000 人
SNS による情報発信件数	54 件	120 件	240 件
レンタサイクル利用者数	2,311 人	2,500 人	2,700 人
官民連携型社会実験実施日数	—	25 日	50 日
笠松みなと公園でのイベント開催日数	—	29 日	34 日